

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会（事前打合せ）の開催報告

1. 日 時：平成 31 年 4 月 12 日（金）18 時 00 分～20 時 05 分
2. 場 所：西庁舎第 18 会議室
3. 団 体 名：相生山の自然を守る会
相生山緑地を考える市民の会
プロジェクト相生山
相生山で遊ぼう会
NPO 法人あたたかい心・天白支部
風の子幼児園
4. 市出席者：緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）・上杉主査（企画）
道路維持課 水谷主査（安全対策）
道路建設課 可児主査（事業調整）
緑地事業課 中村係長
5. 参加者：12 名
6. 当日の次第
 - （1）開会のあいさつ
 - （2）資料説明
 - ・ 12/16 説明会の結果報告について【資料①】
 - ・ 12/16 説明会資料について【資料②】
 - ・ 意見交換したいテーマについて（上記団体所属者から提出されたもの）【資料③】
 - （3）今後の意見交換会の進め方
 - （4）閉会のあいさつ
7. 今後の意見交換の進め方についての話し合い
 - ・ 名古屋市が使っている園路・緊急車両等について、共有できる具体的な説明をしてほしい
 - ・ 道路廃止について要望書などを提出してきたが、市が受け取るだけの一方通行でなく、具体的な意見が聞きたい。
 - ・ 道路の完成度や未着手など、市民が誤解のないよう分かりやすく説明してほしい。
 - ・ コンセプトとして記載した、基本的な考え方や具体的な方策を含め 0 ベースで考えてほしい。

- ・障がい者団体からの意見を聞いてほしい。
- ・有識者の方へのヒアリングは公開でやってほしい。
- ・どうして、このコンセプトに行きついたのか、緑地計画について時間をかけて話し合いたい。
- ・アンケートの分析は不明で、設問は不適切ではないか。色々な意見をどのように突合せ、どのようにもっていくのか工程を示してほしい。
- ・緑地計画については、賛否両論あるのでゴールを目指すには市民同士のコミュニケーションが重要であり、日常的に自由に利用できる場(運営もボランティア)を設けてはどうか。
- ・市長表明文にどこまで拘束されるのか。「市長が言っているから」が、方便になっていないか。
- ・市長表明文では、緊急車両の走行について記載があり、これは道路と同じであり矛盾している。直接市長に会って話したい。
- ・道路を廃止して自然を守るというのが市長案であれば、市長が変わったらまた変わってしまうのではないか。
- ・相生山の自然を残す知恵を出し合いたい。

8. 世界の「AIOIYAMA」プロジェクトの素案についての話し合い

- ・緑地の環境を守り育てる発想がない。施設をつくることばかり考えないでほしい。
- ・緑地環境を守り育てることと、施設整備は両立するのか？
- ・駐車場については、近くの学校の解放など広い視野で話してほしい。
- ・まずは道路を廃止してほしい。
- ・ゴルフ場跡地も防災の拠点となる。なぜ、ふれあいの丘が拠点になるのか。基本的な考え方「緑地の環境を守り育てる」と違和感がある。
- ・「入り込み対策」は市長が言っているように許可証を出したり、警察が協力できるのでは。
- ・緊急車両は現状の生活道路を利用すればよいのではないか。
- ・園路を通すことによって分断され、自然が壊れるのではないか。
- ・森の中に道が通れば、風が入り貧弱な森になる。広い森の中に、道 1 本のみと簡単に考える人が多い。道路の影響を知ってほしい。
- ・建設済みの道路部分だが、税金を使って作ったものを壊すのは、もったいない。モニュメントにしてはどうか？
- ・素案は、大高緑地や天白公園に似ている。相生山の特徴的なものを残してほしい。
- ・緊急車両のみを通すのであれば、ゲート管理をするのか。

9. その他

- ・道路建設に 29 億の税金が使われ、建設済が 80%との説明だった。29 億のうち用地取得にいくら使われているか？
- ・道路を作ってほしいという方はどのような方か？ 地域の方か？ 地域外の方か？
- ・道路賛成派はどんな理由を言っているのか？